

## 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること

### ・体験実習、ボランティア活動

教育現場の実際を体験する科目として、1年次に「体験活動」、2年次に「体験実習（幼・保）」「体験実習（小・中）」を開設<sup>\*</sup>している。これらの科目は、自分が将来就きたい職業の現場の活動を知るための科目であり、1年次および2年次において全学生が履修する。

学生は体験実習を通じて自己の目標を見直し、体験学習を行っている意味について自ら考え、4年間の学習の方向付けと卒業後の進路を見通すこととしている。各体験実習は、単に免許・資格取得のためだけではなく、教員が現場でどのような働きをしているかを十分確認することによって、学生の職業観や就労意識を高揚させるためにも重要と位置づけている。そのため、キャリアサポートセンターでは、実習先施設の情報提供などを通して、学生が各実習から就職活動へと連続的にまた効果的に推移できるように支援している。

※2023年度カリキュラムまでは「体験実習 aⅠ」（1年次）および「体験実習 aⅡ」（2年次）

### ・アグネス塾、アグネス講座

公立学校教員等をめざす学生を対象に大学内塾「アグネス塾」を開催している。公立学校（小中）教員選考試験に合格するための対策としては筆記試験や実技試験、面接対策に重点時に取り組んでおり、教育委員会で指導的立場にあった方々等にも講師を担当いただいている。学生が受験する各自治体の試験内容・時期に合わせて、一般教養・教職教養・専門教科・論文等の筆答対策や面接指導（個人、集団）・集団討論・場面对応・模擬授業、実技等の対策を個々の学生に応じてきめ細かに実施している。

公立保育職（幼稚園教諭を含む）を目指す学生には、各自治体による試験内容に合わせた対策、特に実技（ダンスや手遊び、楽器演奏、歌唱）と面接対応、場面对応を重点に個々の学生のニーズに合わせて実施している。

このように「アグネス塾」は、教員の選考試験に合格するための対策指導の充実を図っているが、それだけではなく、教員になった時の実践的な力量や考え方に加えて、指導者としての豊かな人間性を育成する研修の場でもあり、現場に立った時に、魅力ある教員となることを目指している。

また、学生の「もっと学びたい」「自分の関心を広げたい」「就職したときに役に立つ技術を身に付けたい」「もっと知識を得たい」といったようなニーズに応えるため、授業とは別に授業の空き時間や長期の休みを利用して「アグネス講座」を開設している。「アグネス講座」の内容としては、小学校における「聴き方」「話し方」講座、手袋人形作り講座や英検対策講座、アレンジ演奏講座等があり、学生が自身の興味関心に応じて受講し、教育に関する学びを深めることを目指している。